



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.43
令和5年 1月12日
文責：校長 酒井 健

◇第3学期始業式・・・凜とした空気の中で行われました。

昨日の第3学期始業式では、2・4・6年生が体育館で、1・3・5年生が教室でテレビ視聴での参加となりました。雪が舞う寒い体育館ではありましたが、子どもたちは、新年のスタートにふさわしい凜とした姿で始業式に臨むことができました。話の聞き方、姿勢、真剣な目・・・本当にすばらしいものでした。これからの第3学期が楽しみです。



校長のひとりごと

東日本大震災直後、テレビ放映は震災関係のニュース番組だけとなり、CMはACジャパンの意見広告だけとなりました。その時、流れた言葉が心に響きました。このお話は昨年度のひとりごとにも書かせていただきました。

「こころ」はだれにも見えないけれど、「こころづかい」は見える
「思い」は見えないけれど、「思いやり」はだれにでも見える



この度、この言葉の元になった詩を発見しました。埼玉県が生んだ詩人 宮澤章二の「行為の意味」という詩から抜粋したものだそうです。「行為の意味」を見てみると・・・

-----あなたの〈こころ〉はどんな形ですか とひとに聞かれても答えようがない 自分にも他人にも〈こころ〉は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈こころ〉はだれにも見えない けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えない けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為だから

あたたかい心があたたかい行為になり やさしい思いがやさしい行為になるとき
〈心〉も 〈思い〉も 初めて美しく生きる

-----それは 人が人として生きることだ



「心遣い」や「思いやり」が浸透していくような、そんな温かな学校にしていきたいものですね。あたたかい行為、やさしい行為がいっぱいの大槻っ子！！そんな今年にいきましょう。